

(様式4)

公共事業事後評価調書

番 号	教育-2	事業担当局課	教育委員会事務局学校計画課 教育施設課	
事業名	元石川小学校第二方面校（仮称）整備事業 [美しが丘西小学校整備事業]		完了年度	平成24年度
施工場所	横浜市青葉区美しが丘西二丁目48番地1ほか		経過年数	4年
目的及び事業概要	<p>目的</p> <p>元石川小学校（青葉区）の通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消による児童の教育環境向上を図るため、青葉区内の学校予定地に小学校を新設しました。</p> <p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none">・用地取得のうえ校舎・体育館等を整備し、小学校を新設しました。 <p>工事期間 平成23年9月～平成25年3月</p> <p>開 校 平成25年 4月</p> <p>事業費</p> <ul style="list-style-type: none">・総事業費 21億8,770万円（建物20億6,708万円+校地1億2,062万円） <p>施設内訳</p> <ul style="list-style-type: none">・敷地面積 15,690.46 m²・延べ床面積 9,193.62 m²・構造 鉄筋コンクリート造・規模 地上3階建て・高さ 12m（3階建て部分） <p>普通教室 (24CR)</p> <p>個別支援教室 (2CR)</p> <p>特別教室 (13CR)</p> <p>屋内運動場（アリーナ）、プール、放課後キッズ施設等</p>			
要因の変化 ・ 事業計画の 変更の経緯 等	<p>事業費や事業期間、施設の利用状況等について、大きな変更はありませんでした。</p> <p>なお、本事業は元石川小学校の通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消による児童の教育環境向上を図るための分離新設事業であり、一般的に、学校整備事業について、「B/C（費用対効果分析）」の概念は導入していません。</p>			
事業の効果 の発現状況 (費用便益分析 等)	<p>① 通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消</p> <p>元石川小学校第二方面校（美しが丘西小学校）を建設（平成25年度開校）したことで、元石川小学校の通学区域、通学距離が適正化され、また、仮設校舎が解消でき、児童の教育環境が向上しました。</p>			

	<p>② 配置等の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。 ・開放感のある光庭を組み込んだり、ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。 ・敷地の南側に校舎を配置し一部校舎を2階建にするなど、周辺に配慮した計画としました。 ・特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。 ・周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。 ・環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。 									
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="383 654 625 712">費用便益分析</td> <td data-bbox="625 654 855 712">総便益(割引後)</td> <td data-bbox="855 654 1417 712">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="383 712 625 770">(検討年数： 年)</td> <td data-bbox="625 712 855 770">総費用(割引後)</td> <td data-bbox="855 712 1417 770">—</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="625 770 855 819">費用便益比</td> <td data-bbox="855 770 1417 819">—</td> </tr> </table>	費用便益分析	総便益(割引後)	—	(検討年数： 年)	総費用(割引後)	—		費用便益比	—
費用便益分析	総便益(割引後)	—								
(検討年数： 年)	総費用(割引後)	—								
	費用便益比	—								
対応方針	<p>本小学校は、平成 25 年度一般学級数 23 学級で開校し、平成 28 年度義務教育人口推計では、平成 34 年度には 15 学級になると推計しています。</p> <p>今後、学級数が減った場合でも、学校教育活動上、必要な教室として、習熟度別指導や総合学習などで使用しますので、今後も当初計画通り施設を活用していきます。</p>									
添付資料	<p style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>									

元石川小学校第二方面校（仮称）整備事業

美しが丘西小学校整備事業の概要

- I 事前評価
- II 事後評価
- III 事業の概要

I 事前評価

1 元石川小学校の当時の通学区域図（事前評価実施年度＝平成21年度）



2 平成20年度の義務教育人口推計と元石川小学校第二方面校の建設の経緯

学校名		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
元石川小 保有27教室	児童数	791	835	874	867	859	840	821
	学級数	24	23	24	24	24	24	24

元石川小学校の現状

- ◆元石川小学校の通学区域には、望ましい通学距離の2kmを超える地域があり、平成20年度時点で、元石川小学校全児童数の4割以上を占める約350人がバス通学をしている。
- ◆校庭に仮設校舎を8教室（平成14年度）し、校庭が狭あいである。
- ◆通学距離を理由に、美しが丘西地区から隣接するすすき野小学校へ指定地区外就学許可を得て通学している児童が約200人おり、地域と学校の連携面等で不都合が生じている。



元石川小学校第二方面校（美しが丘西小学校）の建設

- ◎美しが丘西に小学校を整備することで元石川小学校の通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消による児童の教育環境向上を図ることができる。

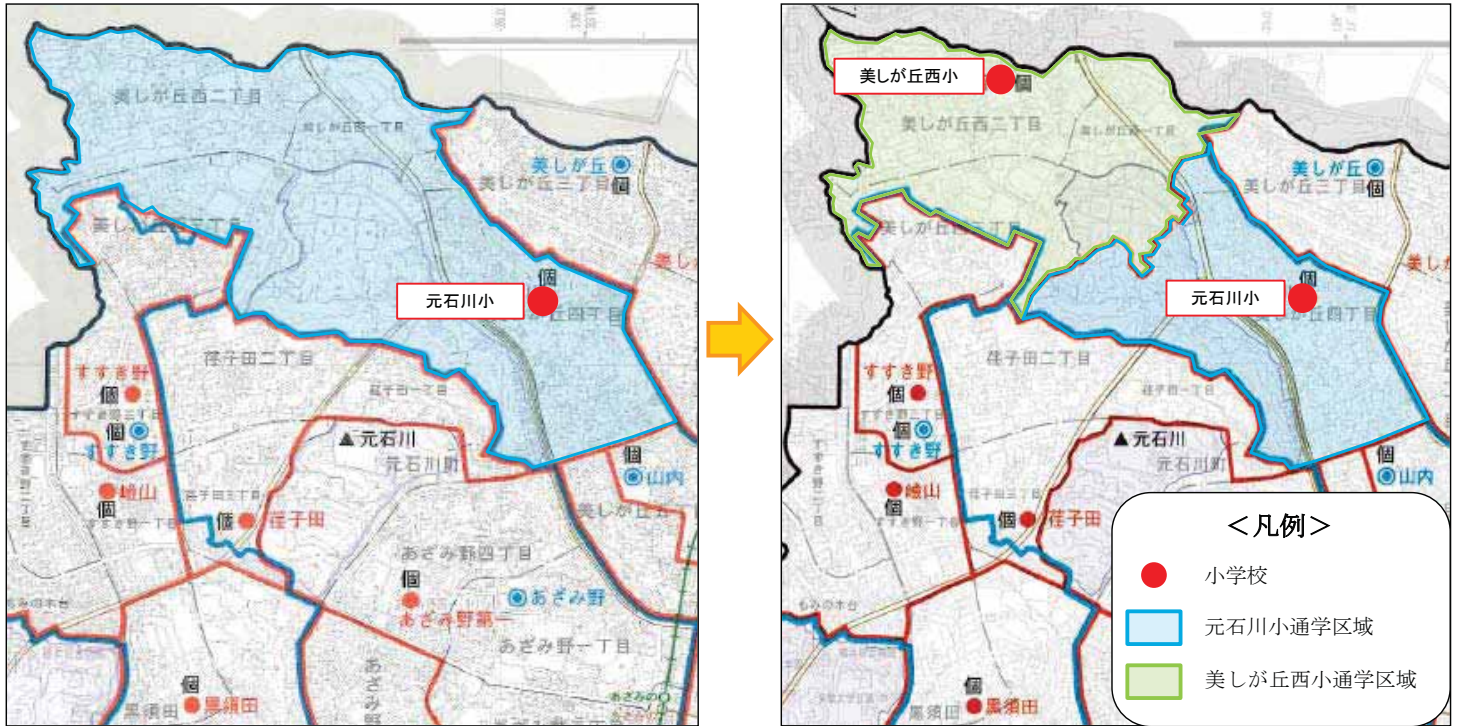
3 元石川小学校第二方面校（美しが丘西小学校の概要）

- 設置場所** : 青葉区美しが丘西二丁目48番地1ほか
開校予定年月日 : 平成25年4月1日
校地面積 : 15,690.46㎡

新設校の施設等の概要

- 普通教室 : 24教室
- 個別支援教室 : 2教室
- 特別教室 : 13教室
- その他 : 屋内運動場(アリーナ)、プール、放課後キッズ施設等

4 分離新設後のそれぞれの通学区域



II 事後評価

開校前年度の推計と現在の推計

平成24年5月1日現在
検討推計

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
美しが丘西小 (26教室)	児童数		802	828	821	797	763	714
	学級数		23	24	24	24	22	21
元石川小 (27教室)	児童数	873	294	302	313	346	359	396
	学級数	25	12	12	12	13	13	13

平成28年5月1日現在の実数及び推計

(28年度までは各年5月1日現在の実数値。29年度以降は推計値)

※各年度の教室使用状況によって、教室数は変動します。

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	32年度	34年度
美しが丘西小 (24教室)	児童数		798	835	833	815	795	755	683	606	558	498
	学級数		24	25	25	24	23	22	21	20	18	15
元石川小 (19教室)	児童数	873	299	304	296	308	303	319	324	339	339	334
	学級数	25	12	12	12	11	11	12	12	12	12	12

美しが丘西小学校の児童数は年度により多少の差異はありますが概ね推計どおりに、元石川小学校の児童数はやや減少傾向で推移していますが、両校とも学級数は概ね推計どおりに推移しています。

Ⅲ 事業の概要

1 事業概要

所在地	横浜市青葉区美しが丘西二丁目48-1ほか
総工事費	21億8,770万円（建物20億6,708万円+校地1億2,062万円）
工事期間	（建物）平成23年9月～平成25年3月 （校地）平成24年7月～平成25年3月



所在地

位置図

2 施設概要

2-1 施設概要

- ・敷地面積 15,690.46㎡
- ・建築面積 4524.73㎡
- ・延べ床面積 9,193.62㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造3階建て
- ・高さ 12m（3階建て部分）

2-2 整備諸室

- ・普通教室 24CR
- ・個別支援教室 2CR
- ・特別教室 13CR 理科室、第一・第二音楽室、図工室、家庭科室、視聴覚室、図書スペース、PCスペース、特別活動室、多目的スペース、等
- ・その他 管理諸室（職員室、校長室、保健室等）、屋内運動場（アリーナ）、プール、放課後キッズ施設、その他諸室（倉庫等）、地域交流室、等

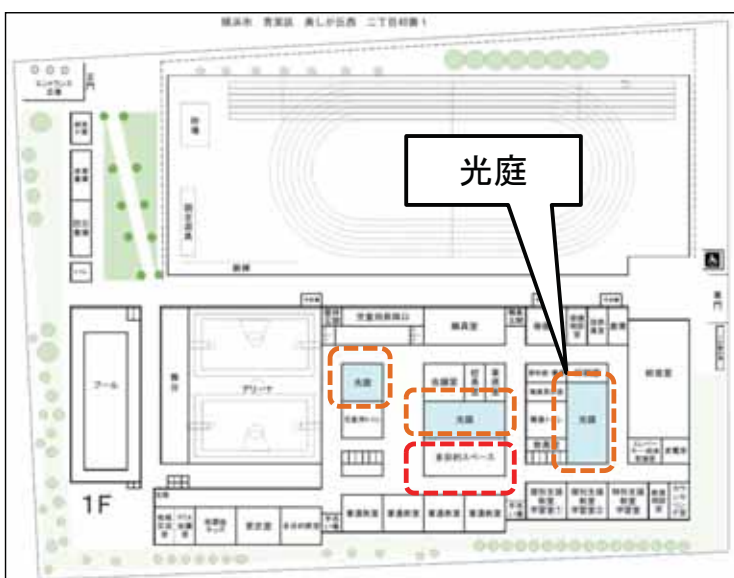
3 建物計画

■施設の主な特徴

- 1 通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。
- 2 開放感のある光庭を組み込んだり、ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。
- 3 敷地の南側に校舎を配置し一部校舎を2階建にするなど、周辺に配慮した計画としました。
- 4 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。
- 5 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。
- 6 環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。

1 通風・採光に配慮した建築計画とし、良好な学習環境を確保しました。

2 開放感のある光庭を組み込んだり、ホールや多目的スペースを各フロアに配置するなど、魅力的な空間を創出しました。





格子状の転落防止柵により、
窓の開放を可能とした

光庭



1F 多目的スペース

2F 多目的スペース



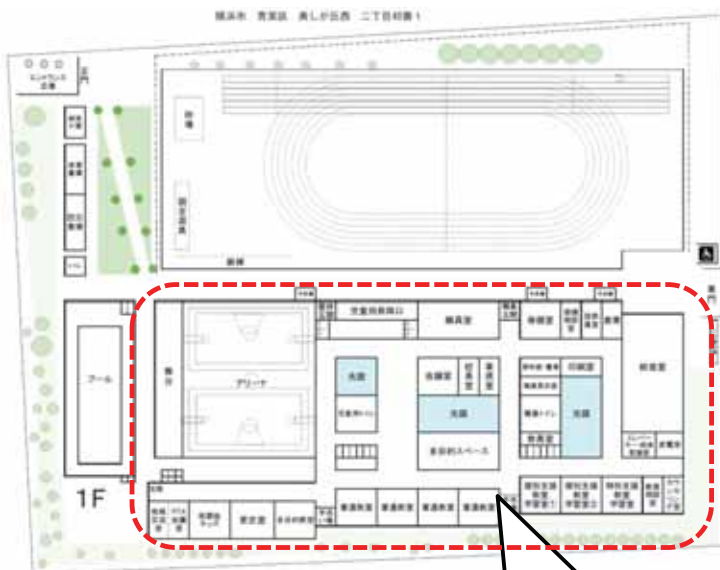


1F 掲示物ラウンジ

1F 昇降口ホール



3 敷地の南側に校舎を配置し一部校舎を2階建にするなど、周辺に配慮した計画としました。



南側校舎配置



セットバック



校舎南側

校舎北側



4 特殊な材料、工法を用いず、汎用性の高い材料、工法を用いました。



■外部仕上げ

《校舎棟》

屋上：アスファルト防水
断熱材

保護コンクリート

外壁：コンクリート打ち放し
の上、吹付タイル



内部仕上げ
《普通教室》

天井：化粧吸音石膏ボード
壁：シナ合板目透し張り
巾木：ビニル巾木
床：ビニル床タイル



内部仕上げ
《理科室》

天井：化粧吸音石膏ボード
壁：シナ合板目透し張り
巾木：ビニル巾木
床：ビニル床シート
(耐薬品)



内部仕上げ

《第一音楽室》

天井：ロックウール吸音ボード
壁：有孔シナ合板目透し張り
巾木：ビニル巾木
床：ビニル床タイル



内部仕上げ

《トイレ》

天井：化粧石膏ボード
壁：無石綿フレキシブル
ボード目透し張り
巾木：ビニル床シート巻上げ
床：ビニル床シート



内部仕上げ

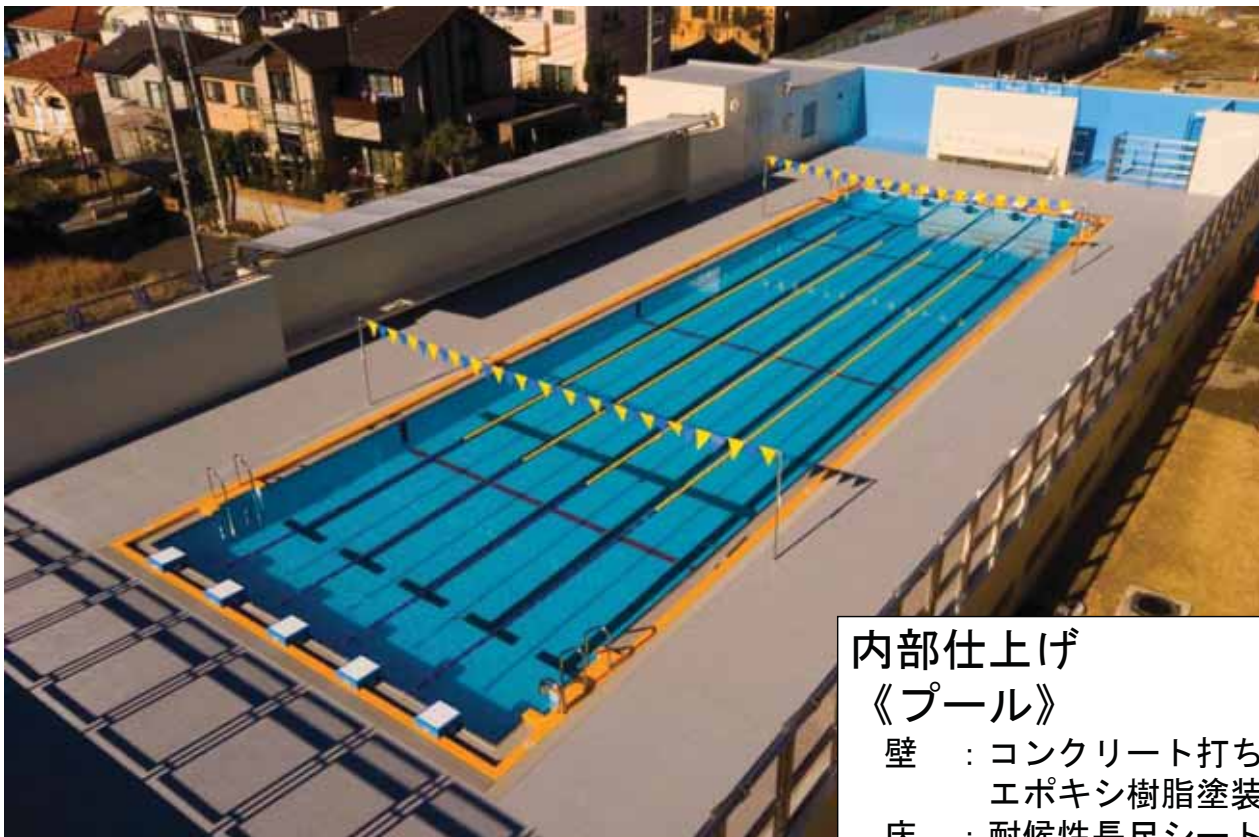
《屋内運動場》

天井：無し

壁：シナ合板目透し張り

巾木：木製巾木

床：フローリング



内部仕上げ

《プール》

壁：コンクリート打ち放し
エポキシ樹脂塗装

床：耐候性長尺シート

5 周辺住宅へ配慮し、学校周辺を緑化しました。



6 環境へ配慮し、太陽光発電設備を屋上に設置しました。



子供たちに環境問題を身近に感じてもらうために、太陽光発電設備を設置

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	元石川小学校第二方面校（仮称）整備事業
	場所 （所在地）	横浜市青葉区美しが丘西二丁目48-1ほか 事業予定地 17,686 m ² （小学校としては、約16,000 m ² を利用予定） 第一種低層住居専用地域（建ぺい率40%、容積率80%）
	事業目的	元石川小学校の通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消による児童の教育環境向上を図るため、青葉区内の学校予定地に小学校を新設します。
	事業内容	校舎・体育館等の建設、校庭整備まで
	事業スケジュール	基本・実施設計 平成22年 1月～平成23年3月 校舎、校庭等工事施工 平成23年10月～平成25年3月 開 校 平成25年 4月
	総事業費	約24億円 （内 訳） 建物工事費 約22億円（うち国庫補助 約6億円） 校地整備費 約 2億円
事業の 必要性	<p>(1) 必要性 元石川小学校の通学区域、通学距離の適正化及び仮設校舎の解消による児童の教育環境向上を図ります。</p> <p>(2) 上位計画における位置付け・根拠法令等 学校教育法、学校教育法施行規則、中学校設置基準、横浜市立小中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針。</p> <p>(3) 適地性 当該地は既に学校建設予定地として確保しており、新たに設置される小学校通学区域のほぼ中間に位置しているため、設置は適当と考えられます。</p>	

<p>事業の効果</p>	<p>(1) 教育環境の充実 元石川小学校の通学区域、通学距離の適正化を図るとともに、仮設校舎の解消による児童の教育環境向上の実現が可能となります。</p> <p>(2) 快適な学習環境づくり 学習の多様化、授業時間の弾力化、場の多様化、学習システムの進展に対応できる学校とすることに加え、生活の場としての機能（採光や開放感のある施設配置等）を整備することにより、快適な学習環境を提供できます。</p> <p>(3) 周辺環境に配慮した建物 周辺住宅への威圧感や日影に配慮し、学校周辺を緑化することにより、現在、広場である空間を周辺住宅と一体感のある場所とすることができます。</p>
<p>環境への配慮等、特記事項</p>	<p>長期的な視点に立ち、投資コストを抑制しつつ、光熱費、維持管理費、改修コスト等、学校施設の維持管理コストの低減を考慮し、長期的な視点から環境負荷の低減や経済性を考慮した施設計画とします。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>通学区域、学校名及び通学安全に関して、自治会、町内会、PTA、関係学校長で組織する「元石川小学校第二方面校開校準備委員会」において、検討を行っています。</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式</p>
<p>その他</p>	<p>特になし</p>
<p>添付資料</p>	<p>元石川小学校第二方面校（仮称）通学区域図（案）</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局総務部施設管理課 高橋、安島（TEL 671-3256～3258）</p>

元石川小学校第二方面校（仮称）通学区域図

<通学区域>

新設校の通学区域は、次のとおり【図中：イ】

美しが丘西一丁目～二丁目全域、美しが丘西三丁目1番地～11番地・43番地・45～54番地・57～59番地・61～65番地、元石川町7138番地～7244番地、元石川町7247番地～7267番地、元石川町7269番地、元石川町7272番地～7308番地、元石川町7310番地、元石川町7315番地～7441番地、元石川町7512番地～7513番地（美しが丘西保木自治会区域）

<特別調整通学区域>

新設校の特別調整通学区域は、次のとおり

- (1) 指定校：元石川小学校、受入校：新設校【図中：ロ】
元石川町7510番地～7511番地（元石川町愛郷自治会区域）
- (2) 指定校：新設校、受入校：元石川小学校【図中：ハ】
元石川町7327番地、7337番地～7338番地、7512番地～7513番地（美しが丘西保木自治会区域）

